

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和 7 年 11 月27 日(木)～令和 7 年12月4日(木)		
事業名	千葉県特別支援学校作品展		
趣 旨	一人一人が輝く共生社会の形成に向けた特別支援教育の推進に向けて、特別支援教育及び特別支援学校について広く県民に対して理解・啓発を図るとともに、特別支援学校に在籍する児童生徒が作品を発表する場とし、県民と特別支援学校生徒との触れ合いをとおして、共生社会実現の一助とする。		
会 場	さわやかちば県民プラザ 1階県民ギャラリー、2階回廊ギャラリー及びアゴラ		
対 象	どなたでも		
申込方法	なし		
募集定員	なし	募集期間	
参加者数	500名	参加費用	無料
講師 等	なし		
実施内容	主催:千葉県特別支援学校長会 さわやかちば県民プラザ 参加人数:500名 日程:搬入:11月26日(水) 展示:11月27日(木)～12月4日(木) 搬出:12月4日(木) 物品販売:県立湖北特別支援学校 11 月27日(木)・28日(金)9時15分～11時 		
参加者アンケート	【満足度 98.5%】 ○特別支援学校の取組がよくわかりました。素敵な作品で温かい気持ちになりました。 ○感性豊かで素敵な作品が沢山のこちらでも思わず微笑んでしまいました。来年も楽しみにしています。また作品販売があると嬉しいです。 ○とても素敵な作品ばかりで毎年楽しみにしています。アイデアも豊かで参考にさせてもらいたいです。		

参加者 アンケート	○子ども達の感性を感じました。鳥肌が立つほど素晴らしく、この個性を大切にしたいと思いました。毎年、先生方のご苦勞もあるかと思いますが、ぜひ続けてほしい作品展です。ありがとうございました。 ○大変に個性豊かな作品で、力強さや優しさを感じることができました。何より、生徒さんのために多大なサポートと工夫をしておられる先生方に深く敬意を表します。 ○皆が頑張っている姿が作品を通して見える気がしました。
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨については、特別支援学校の児童生徒の作品を通じて、各特別支援学校の取組を知り、理解する機会となった。 ・特別支援教育関連情報コーナーを通じて、各機関が作成しているリーフレットを手に取りの方が多く、とても好評だったこともあり、共生社会実現に向けて考える機会となった。 ・県内特別支援学校紹介パネルの展示を通して、各学校での取組や特徴などを知る機会となった。 ・県立湖北特別支援学校による物品販売会を通して、特別支援学校の生徒と県民が直接触れ合う機会となり、特別支援学校についての理解を深め、共生社会実現の一助とすることができた。 【課題・今後の方向性】 ・事務局校との打合せを早い段階から行うことができたため、円滑な運営につなげることができた。事務局は持ち回りのため、今年度の課題等をしっかり情報共有し引き継ぐことで、来年度の本事業をより良いものにできるようにする。 ・来場者把握のため、受付を1階のみとし、2階入口は封鎖していたが、車いすの方や2階で他の研修等を行っている方々にも見てもらえるように、来年度はよりオープンな形で開催できるような方策を考えていきたい。 ・販売会では完売になるのが早かったため、予定時刻よりも大幅に早く終了してしまい、来場者から残念だという声があった。運営側で来場者数や売れ行きを予想して、販売校へ伝えられるようにしていきたい。 ・上方の展示の作品紹介が見にくいという声が多数あった。学校ごとに展示場所が限られていることも踏まえ、展示説明の工夫を図っていきたい。 ・受付担当の特別支援学校の教員が、来場者対応に困る場面が複数回あった。当所と事務局でマニュアルやQ&Aを作成し、円滑に対応できるようにしていきたい。 ・所内に特別支援学校の作業製品紹介コーナーを設置し、作品展開催毎に製品を入れ替えていただく形をとることで、所内で特別支援学校の活動に触れる機会とする。 ・一昨年度までと比べ、来場者数が減少している。理由として、学校の行事として参加していた団体が今年度はなかったことや、ペーパーレス化に伴いチラシ等の紙配架を取りやめたことに起因すると考える。実際来場者から大変好評な事業であるため、特別支援教育周知の取組としてより多くの県民の方に来場していただけるよう、来場者数増加への方策を練っていきたい。